

図書館だより

NPO 法人はまでら 4 つのや図書館
第 101 号 2025(令和 7)年 5 月 7 日



～ 本と人をつなぎ、人と人をつなぐ図書館 ～

館長 由良 芳子



浜寺公園の松と桜

学校園では4月に入学式・入園式が挙行され新年度が始まりました。当図書館でも、たくさんの方々から早々に、会員継続の手続きをしていただくなか、本日、定例総会を無事終了し、新年度のスタートを切りました。令和7年・2025年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。近くの浜寺公園では、1873年に大久保利通公の忠告で松の伐採が止められて以来、大切に護られている松林に満開の桜がコラボして新年度を祝っているかのようです。

さて、当図書館は、「本を通じて読書活動を充実させる中、本と人をつなぎ、人と人をつなぐ温かい図書館でありたい」と願っています。そんなある日、絵本を

お母さんと一緒に選んでいる男の子がいました。そして、ほぼ一ヶ月たった頃、男の子自らお気に入りの絵本のある書棚へつかつかと歩いていき、数冊取り出してにっこり。スタッフも思わず駆け寄りました。そして、一緒に本を読みました。本と人、人と人の温かなつながりのスタートです。帰りも、男の子は、振り返ってハイバイ！

楽しい場所、安心できるつながりを感じて、子どもも大人も成長したいと思います。

次に、会員の方から嬉しい寄稿メールが届きましたのでご紹介します。感想など述べ合い、つながっていきましょう。新たな話題や夢中になっていることなどをどしどしご寄稿下さい。(郵送またはメールで)

「私の趣味は本屋さんでの絵本チェック」
熊本市 後藤純子さん
毎月何回か、本屋さんで絵本を読んでいます。はじめは絵だけ、次に絵とお話を読みます。立ち読みで、あっという間ですが、私にとって至福の一時です。新しい本、よく知っている本を選ぶのはその時の気分次第です。気に入った本は購入するので、店員さんともすっかり顔なじみです。今、本屋さんに行く人が減り、あちこち閉店しているとのこと、寂しい限りです。そして、忙し過ぎる世の中で、人の心も身体も余裕がないのではと心配してしまいます。私の楽しい趣味は本屋さんで絵本を読むことです。

『わたしのお気に入りの一冊』

ご自分のお気に入りの一冊を紹介し合うコーナーです。

書名『絵物語 古事記』

著者：富安陽子 三浦佑之(監修) 偕成社
紹介者：岩本美保さん (堺市西区)



『古事記』は、現存する日本最古の歴史書。天地の始まりから七世紀の推古天皇の時代までの歴史を記した全三巻からなる物語。

この本では、上巻につづられている神話の部分を絵物語として一冊にまとめてあります。天と地が生まれ、イザナキとイザナミがこの国づくりを任せられるところから話は始まります。亡き妻に会いたい一心で行った『黄泉の国』、オオクニヌシノミコトが兎を助ける『稲羽の白うさぎ』、スサノオによって退治された『ヤマタノオロチ』など、有名な神話が語り

口調でわかりやすく書かれており、絵物語なので子どもから大人まで楽しめます。

一見、奇想天外に思える物語ですが、悩んだり、泣いたり、怒ったり、兄弟でいがみあったりと、人間味ある個性豊かな神様がたくさん登場し、実際に現存する『三種の神器』や、各地に残る地名や神社など数多く出てくるので、とても身近に感じることができます。

カタカナ表記の神様の名前が覚えづらいので、幾度となく読み返してしまいたくなる一冊です。

春のおたのしみ会

3月26日(水) 15:00～

「かるた大会はじまりまーす！」の声とともに、「わーい！」という子ども達の声がありました。

図書館でかるた大会をするのは初めてなので、おたのしみ会が始まる前に予行練習をしたところ予想以上に盛り上がりました(笑)(読み札を)「読みたい！」という子どもや、「もう一回練習したい！」という子ども達で大盛り上がり！そして、いざ本番！！

絵札を探す子どもたちのスピードは半端なく早い!! スタッフ手づくりの5個のメダルを狙って、頭と頭がくっつくくらい前のめりになり、真剣な顔で絵札を見つめます。読み手の言葉にいち早く反応し「はい！」の声。同じかるたを3組使ってグループ分けしたのでそれぞれのグループから歓声と少しの落胆の溜息が聞こえました。子どももおとなも笑顔たくさんの春の一日でした。(スタッフ 吉田)



おっちゃんの読み聞かせ

4月16日(水) 15:00～

浜寺公園の八重桜が満開の時期のおっちゃんは、浜寺校区自治連合会会長の井手口満昭さんです。

○やさざかなののろい

○すごいね！みんなの通学路

○だるまなんだ

○めをさませ の4冊を読んでもらいました。

ページをめくるたびに笑いがおこる本や、世界の通学路に驚いたり、おっちゃんの読み聞かせならではの温かい時間が流れました。

「孫に読むような訳にはいかない。とても緊張しました」とおっしゃっていましたが、そんな様子は全く感じられないスムーズさで、にこやかに読んでくださいました。

絵本を読んでもらうと、

とても心地がいいのです

偶数月のおっちゃんの読み聞かせ、みなさん是非来てください♪(スタッフ濱)



子どもとおとなの『堺・歴史ウォーク』

4月19日(土)、歩けば汗ばむほどの陽気の中、大小路～方違神社とその周辺を散策しました。



☆参加した方に感想をいただきました☆

○4月とは思えない暑さのなか、土肥先生の引率で堺の歴史ウォークに参加しました。歳をとっても知らないことを学ぶのはとても楽しいことです。引越しのときに、方違神社の砂を頂くことの意味をはじめて知りました。土肥先生の健脚にビックリしました。いつも有難うございます。また次回を楽しみにしています。 -R.Sさん-

○長年堺に住んでいるのに、じっくりと歴史の道を歩くのは初めてでした。半日で五街道を歩き、行きたかった方違神社にも行けました。土肥先生お話を聞きながら歩くと、その時代の人々の営みも感じられ、興味深かったです。まさに歴史ウォーク、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

-K.Sさん-



俳句ができたよ！きりり十選 百一冊
令和七年五月七日

兼題「冷奴」

- 冷奴これさあえあればハッピーよ
- つかの間の涼をもらいし冷奴
- 冷奴被災地の味噌かき添へ
- 冷奴やっこ豆美しく変身し
- 待ちどおし今宵の友は冷奴
- 冷奴もろみを乗せて酒旨し
- 何事もするりと抜ける冷奴
- 三辺を掛けて体積冷奴
- 豆の香は姑の手づくり冷奴
- 冷奴歓声飛び交う旅紀行
- 冷奴こんなお肌になりたいわ
- あと一品強き味方の冷奴

次回(七月)の兼題は「夏帽子」または自由
*投句締切 六月四日(水)

芳和文勝忍雅昭幹ユウ和勝直
子之浩子子子子子子子子子子子

2025年5月・6月・7月の開館日時

どなたでもご利用いただけます。

◎水曜日14時～17時

5月:7日・14日・21日・28日

6月:4日・11日・18日・25日

7月:2日・9日・16日・23日・30日休

◎木曜日10時～17時

(第2・第4木曜日 12時～)

5月:1日休・8日・15日・22日・29日

6月:5日・12日・19日・26日

7月:3日・10日・17日・24日・31日休

2025年度 NPO 会員募集

2025年4月～2026年3月の会員を募集しています。図書館でも受け付けます。

ご支援よろしくお願ひします。

協力会員 10,000円/年

賛助会員 10,000円/年

正会員 10,000円/年

口座名：NPO 法人はまでら4つのや図書館

◎ゆうちょ振込先 00950-9-171544

*払込票にご住所・お名前・お電話番号・

会員種類をご記入のうえ、できるだけATMを

ご利用ください。

◎楽天銀行 支店番号 253

普通 7225222

*お名前の後に会員種類をご入力ください。

↑なんば方面
はまでら4つのや図書館

204
南海本線
阪堺電気軌道
船尾

AEON
和歌山駅
関西空港駅方面

公式LINE →

URL yottunoya-library.com
Mail yottunoya@hotmail.com

所在地：〒592-8348 堺市西区浜寺諏訪森町中1丁103-1(浜寺校区文化会館内)南海本線諏訪ノ森駅東側線路北へ

連絡・・・《警報(大雨、暴風、地震、津波、他)が発令されたときは、図書館は休館します。》

2025.5月の新着本より

版元ドットコム・Amazonより引用しています。
当月の新着本リストと紹介文の一部は図書館内の掲示、またはホームページにてご覧いただけます。

2025.6月の新着本より



まどからぴよこっ! 新井洋行

まどからちょこっと見えるもの、なにかなにかかな?

うさぎやカエル、虹に、おばけ!子どもたちが大好きなモチーフもたくさん!

どんなものが出てくるか想像し、パッと登場したときの楽しさを、赤ちゃんといっしょに体感できます。親子で語り合いながらコミュニケーションをはかれる“いないいないばあ”絵本です。

はたらくくるまたちのはたけしごと

ジェリ・ダスキー・リカー/AG・フォード/福本友美子

働く車たちが農場にやってきた。農場ではトラクターたちがお出迎え。さあ、いっしょに働こう!

車たちは、力を合わせて動物の小屋を建て、畑を耕し、種をまき、作物を取り入れる。春夏秋冬、いきいきと働く車たちが、作り上げる楽しさや自然の豊かさを伝えます。そして、働いたあとの安らぎも……



星の教室 高田郁

主人公の潤間さやかは、中学の卒業証書を受け取っていない。

義務教育さえまともに終えていないという枷が、社会でも家庭内でも、さやかを生き辛くさせていた。しかし、ある日、さやかは夜間中学という存在を知る。それは、戦争や貧しさや病など、さまざまな事情で義務教育を終えられなかった大人たちの集う学校だった。

二十歳の春、さやかは河堀夜間中学への入学を果たす。仲間たちに支えられて過ごす日々が、学校や親への不信で雁字搦めだったさやかの心を解きほぐしていく。やがて、さやかには密かに叶えたい、という夢が芽生え始めるのだが……。

ノースライト 横山秀夫

北からの光線が射しこむ信濃追分のY邸。建築士・青瀬稔の最高傑作である。通じぬ電話に不審を抱き、この邸宅を訪れた青瀬は衝撃を受けた。引き渡し以降、ただの一度も住まれた形跡がないのだ。消息を絶った施主吉野の痕跡を追ううちに、日本を愛したドイツ人建築家ブルーノ・タウトの存在が浮かび上がってくる。ぶつかりあう魂。ふたつの悲劇。過去からの呼び声。横山秀夫作品史上、最も美しい謎。



おおきなおおきな あさごはん

リチャード・ジョージ/よしいかずみ

あるひ、ことりがやってきて、ぼくの手からごはんをたべた。「ことりさん、また あした」とつぎの日、2ひきのネズミがなかまいり。さらにつぎの日、4ひきのリスもなかまいり。みんな、あさごはんをまってるよ。どんだんなかまがやってきて、255ひきがあつまった! みんなおなかいっぱいになるのかな?

がりがりがり、むしゃむしゃむしゃ・・・オノマトベがいっぱいで、読み聞かせも盛り上がる!



十年屋 7 タイムセールいたします

廣嶋玲子/佐竹美保

十年屋のマスターは、見かけによらず、片づけが大の苦手。お客様から預かって、そのままお店が引き取るようになった物が、店内にあふれかえってしまい、執事猫のカラシもとうとう大爆発!「こうなったらあれをやるしかないのです!」ということで、十年屋史上初のタイムセールがはじまります。そこへ、魔法街をゆるがす大ニュースも飛びこんできて……。ついにあのカップルにも進展が!?

ほんまに「おいしい」って何やる? 村田吉弘

著者の村田氏は、京都の老舗料亭「菊乃井」の跡取りとして生まれ、「ほんまにおいしいものって何や?」ということを追及して70余年。

昨今の、おおげさに「うま〜い、おいしい」を繰り返すテレビのグルメ番組や、「お金さえだせば、おいしいものを食べられる」と勘違いするグルメ・ブームには、ぴしゃり!とダメだしをしつつ、身近な給食や家庭の手料理まで「おいしさの本質」を追及し、後進を育てている。

抱腹絶倒! 歯に衣を着せぬ食の世界と波乱万丈な人生を語り、食の本質、食の未来に熱く迫る!

今度生まれたら 内館牧子

「今度生まれたら、この人とは結婚しない」70歳の主婦、佐川夏江は自分がやり直しのきかない年齢になっていることにショックを受ける。人生を振り返ると、あの特別の道を選んだらどうなっていたかと思うことばかり。進学は、仕事は、結婚は。少しでも人生をやり直すため、夏江はやりたいことを始めようとあがく。

パンダのソフトクリームやさん 小川かなこ



パンダのきょうだい、とんとんくんとらんらんちゃんソフトクリームやさんです。ある日、くまくんと一緒にはちみつを取りに行きますが、はちの巣は木の高いところにあり届きません。そこで、木の下に運んだ丸太の上に、お店につないだ長いホースからクリームをぐるぐると出していきます。とんとんくんが大きなソフトクリームの山をかけのぼって、はちみつをかけていきますが……。満足感たっぷりの、ユーモラスな絵本です。

カリジェの町の大時計 ぬまのうまさ



カリジェという町には、昔から住人たちが大切にしている大時計がありました。そして、そのとなりには、大時計を守る、時計屋のイーグルさんが住んでいました。カリジェの大時計には不思議な力があって、年に一度、そのとくべつな力が発揮される日がやってきます…。年に一度のとくべつな夜、カリジェの町の大時計が起こす奇跡の物語。

彼女が知らない隣人たち あさのあつこ

縫製工場でパート勤務をしつつ、夫や子どもたちと平凡な日々を送っていた詠子は、駅前での爆発事件をきっかけに周囲の不穏な変化を感じ始める。同僚の外国人技能実習生に対するネット上での誹謗中傷、不可解な言動を繰り返す反抗期の息子、図書館での第二の爆発騒動。一連の事件に家族が関与しているのではと疑念が膨らんだ詠子は……。

人は、愛する人の心のうちをどこまで理解できるのか。世界が鮮やかに反転する、衝撃の社会派ミステリ!

出会いなおし 森絵都

人生の大切な時間を、鮮やかに、そして、深く描く、珠玉の短編集。森絵都さんが、時間をかけて、熟成してきた短編たちを編んだ本作は、年を重ねるといふことの意味を改めて実感できる表題作や、意外な視点のショートストーリーもあり、身近な人との絆を見つめなおしたくなるような、優しさと、確かな生の重みに満ちた作品を楽しめます。



星をつるよる 轟・サグソ/すんみ

読んでいる間も、本を閉じた後も、豊かな気持ちになる、真夜中の物語。眠れなくて不安な夜、窓の外のお月様に「あそぼうよ」と声をかけてみると、星形の釣り針がついた糸がするするとおりてきて、眠れないお友だちがつぎつぎとあつまってきました……。2020年の国際推薦児童図書目録『ホワイト・レイプンズ』に選定された、韓国の新進気鋭の絵本作家による最新作!

サヨナラは言わない アントニオ・加藤/加藤かおり



12歳のエリーズのパパはフランス人、ママは日本人。4年前にママが死んでからパパは心を閉ざしたまま。家で日本語を喋るのは禁止。日本のアニメをみるのも禁止。パパはたくさんのルールを作った。エリーズは、親友のステラとかくれて〈NARUTO-ナルト-〉を一緒に見ながら、パパの顔をうかがう日々をすごしていた。そんなある日、日本からソノカおばあちゃんがやってきた!

日仏カップルのもとに生まれ、母親を亡くした子どもの心の喪失と家族の再生を描く、心あたたまる物語。

天使のにもつ いうみく

中学二年生の風汰が、学校の職業体験で選んだ先は保育園。「子どもとあそんでいけばいいってこと?」と安易な気持ちで選んだ体験先だったけれど、いざ始まってみればもちろん楽な仕事のはずはなく、なかには気がかりな園児もいて……。風汰が自分の心で感じ、自分の頭で考えて過ごした5日間。等身大の十代読者をはじめ、大人にもぜひ読んでほしい物語。

夜に星を放つ 窪三澄

コロナ禍のさなか、閉塞感と、婚活アプリで出会った恋人との進展しない関係に悩む綾。月に一度、綾の早世した双子の妹の恋人だった村瀬と話すことで気持ちを保っている。

重い喪失感を共有する二人が、夜空を見上げた先には――(真夜中のアボカド)

どうしようもないことに対面した時、人は果然と夜空を見上げる。いつか再び、誰かと心を通わせることができるだろうか――